

## コーポレート・ガバナンスについて

三菱UFJニコスは、三菱UFJフィナンシャル・グループの一員として、以下の「経営ビジョン」を経営戦略の策定や経営の意思決定の拠りどころとなる基本方針と位置付けています。

三菱UFJニコスは、「経営ビジョン」の考え方を実現するために、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。

### 経営ビジョン

#### 私たちの使命

いかなる時代にあっても決して揺らぐことなく、常に世界から信頼される存在であること。  
時代の潮流をとらえ、真摯にお客さまと向き合い、その期待を超えるクオリティで応え続けること。  
長期的な視点で、お客さまと末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現すること。  
そして、日本と世界の健全な発展を支える責任を胸に、社会の確かな礎となること。  
それが、私たちの使命です。

#### 中長期的にめざす姿

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ  
— Be the world's most trusted financial group —

1.お客さまの期待を超えるクオリティを、グループ全員の力で  
お客さま視点を常に大切に、グローバルに変化する多様な  
ニーズを逸早くとらえ、グループ全員の力で応えていく。社員  
一人ひとり、一社一社が専門性を極め、グループ一体となって  
連携・協働し、世界水準のトップクオリティを追求する。

2.お客さま・社会を支え続ける、揺るぎない存在に  
変化の激しい時代においても、お客さまの資産を守り、日本社会  
と世界経済の健全な成長を支える。一人ひとりが築く信頼と、  
グループ全員で作る強固な経営基盤で、最も信頼される頑健な  
存在であり続ける。

3.世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ  
これまで培ってきた強みを活かし、日本はもとより、アジア、そし  
て世界においても選ばれる存在となる。多様化・ボーダレス化  
する社会で、変化へ積極的に対応し、一人ひとりが成長・活躍で  
きる組織として進化を続ける。

#### 共有すべき価値観

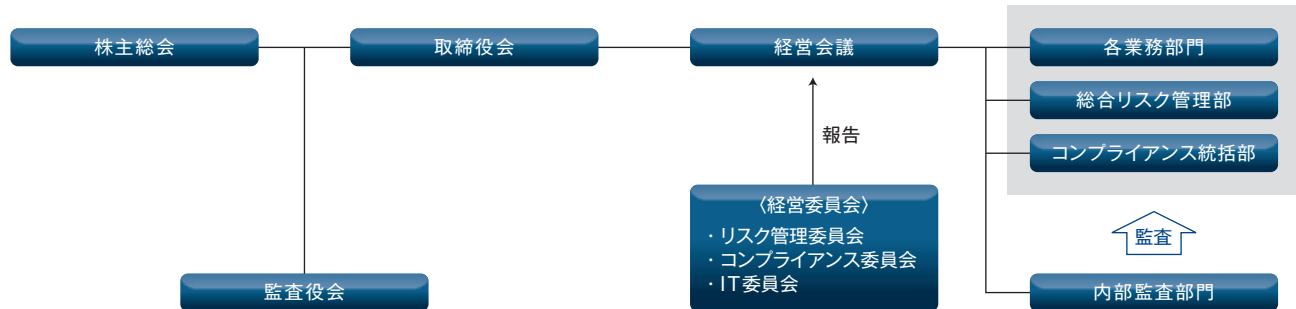
グループとしてさらなる成長を遂げ、  
お客さま・社会へ貢献し続けるために。  
私たちは以下のことを大切に、実践していきます。

1.「信頼・信用」  
(Integrity and Responsibility)  
社会的責任の重さを一人ひとりが十分認識し、常に公正正大か  
つ誠実な姿勢で臨み、長期的な視点でお客さまと社会の健全な  
成長に繋がる行動をとる。

2.「プロフェッショナリズムとチームワーク」  
(Professionalism and Teamwork)  
プロとしての自覚と責任を持ち、多様な社員が互いに尊重・切磋  
琢磨しながら、地域・業態を越えたチームワークで、お客さまの  
期待を超えるために常にグループとしてベストを尽くす。

3.「成長と挑戦」  
(Challenge Ourselves to Grow)  
世界的な視野で時代の先を見据え、変化を自らの成長の機会と  
とらえ、現場重視でスピードと柔軟性を持つ活力溢れる職場作り  
に全員で取り組み、新たな領域へ挑戦する。

### 三菱UFJニコスのガバナンス体制



## 個人情報保護について

三菱UFJニコスは、お客さまの個人情報保護するため、以下の個人情報保護方針を制定しています。

#### 個人情報保護方針

三菱UFJニコス株式会社(以下「当社」といいます)は、三菱UFJフィナンシャル・グループの一員として、グループの経営ビジョンのもと、お客さまの個人情報、個人番号及び特定個人情報(以下個人番号と特定個人情報を「特定個人情報等」といいます)を適切に取扱うことが当社の社会的責務であると認識し、次のとおり個人情報保護方針を定め、役職員一同がこれを遵守することによって、お客さまの個人情報と特定個人情報等の保護に万全をつくしてまいります。

- 当社は、お客さまの個人情報・特定個人情報等の適正な取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。
- 当社は、お客さまの個人情報・特定個人情報等を適正に取得いたします。また、法令に定める場合を除き、お客さまの個人情報・特定個人情報等の利用目的を通知または公表し、お客さまの個人情報・特定個人情報等をその利用目的の範囲内において使用いたします。特定個人情報等については、法令で定められた利用目的の範囲内でのみ使用いたします。また、この利用目的の範囲を超えた個人情報・特定個人情報等の取扱い(目的外利用)を行わないための措置を講じます。
- 当社では、すべての役職員が個人情報・特定個人情報等の保護の重要性を理解し、お客さまの個人情報・特定個人情報等を適切に取扱うよう教育いたします。

- 当社は、お客さまの個人情報・特定個人情報等に関し、不正アクセス、紛失、改ざんおよび漏洩等の防止に努め、適切な安全管理措置を実施いたします。
- 当社は、法令に定める場合を除き、お客さまの個人情報をあらかじめ本人の同意を得ることなく第三者に提供することはいたしません。また、法令に定める場合を除き、お客さまの特定個人情報等を第三者に提供することはいたしません。
- 当社がお客さまの個人情報・特定個人情報等の取扱いを委託する場合は、お客さまの個人情報・特定個人情報等の安全管理が図られるよう適切に監督いたします。
- 当社では、お客さまの個人情報・特定個人情報等の開示・訂正等の手続きを定めます。また、個人情報・特定個人情報等の取扱いに関するご意見・お問合せを承ります。
- 当社は、個人情報・特定個人情報等の保護のための個人情報保護マネジメントシステムを継続的に見直し、その改善に努めてまいります。

個人情報保護方針についてのお問い合わせ先  
三菱UFJニコス株式会社 お客さま相談室  
03-5296-1420 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始は休み)

## リスク管理態勢について

三菱UFJニコスでは、リスク管理強化を目的に、専門部署として総合リスク管理部、審議機関としてリスク管理委員会、リスク管理全般を統括管理する者として「チーフ・リスク・オフィサー(CRO)」を設置し、経営会議・取締役会の承認のもと、総合リスク管理態勢の構築とリスク管理プロセスの浸透・定着を行い、経営の健全性の確保と企業価値の拡大に努めています。

#### リスク管理態勢

銀行グループは、金融業界でも最も厳格なリスク管理態勢が求められており、三菱UFJニコスも三菱UFJフィナンシャル・グループのリテール分野の中核会社として総合カードビジネスNo.1企業を目指し、先進的な総合リスク管理態勢を構築し、実践しております。

また、当社各種業務遂行において晒されている信用リスク、市場・流動性リスク、オペレーショナルリスクなどを適切に認識し、評価・分析の上、経営会議・取締役会に諮り、定期的なモニタリングを行うとともに、リスクの発生防止・削減を推進するための態勢の整備を図っております。

加えて、危機管理においてもリスクが顕在化し、企業価値に多大な影響を及ぼす事態が発生した場合、被害や影響を最小限とするための管理態勢を整備・確立しております。

今後も、リスク管理強化のため、三菱UFJフィナンシャル・グループのリスク管理水準に沿ったパーゼル規制や、米国企業改革法(SOX法)・各種法令への対応を行い、ハイレベルな総合リスク管理態勢を構築し、経営マネジメントや業務運営を今まで以上に強化、充実してまいります。

## 認証について

三菱UFJニコスは、国内外におけるさまざまな規格に適應し、それぞれから認証を取得しています。

### ● 国際規格「ISO9001」／「ISO10002」

お客さまご相談室では、一般財団法人日本品質保証機構(JQA)より、品質マネジメントシステムに関する国際規格「ISO9001」の認証を取得し、苦情対応に関する「ISO10002」の適合性の評価を得ました。お客さまに安心と信頼を感じていただくことを「品質方針」とし、①迅速・正確および適切な応対、②情報連携による再発防止および改善への取り組み強化に努めていきます。



### ● プライバシーマーク

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)より、個人情報の保護レベルを評価する「プライバシーマーク」の認証を取得しています。本制度は、「個人情報保護法」の規程を包含する日本産業規格「JISQ15001」に基づき、適切な保護措置を整備している事業者をJIPDECが認定して、その証としてプライバシーマークを付与し、事業活動に際しプライバシーマークの使用を承諾するものです。



### ● 国際規格「ISO27001」

システム部門におけるNICOSブランドの本番運用管理業務について情報セキュリティマネジメントシステムへの適合性を評価する国際規格「ISO27001」の認証を取得しています。コンプライアンス経営強化の観点から注目されている規格で、顧客情報の保護やコンピューターシステム運用において一層の信頼性が確保され、クレジットカード決済業務などの受託ビジネスにおいても、当社システムの優位性は一段と高まっています。





## CSRの取り組みについて

三菱UFJニコスは、皆さまとともに歩む企業として、多様化する社会の重点課題に正面から取り組む責任があると考え、SDGs(持続可能な開発目標)の達成を目指し、さまざまな社会貢献活動を進めています。

### 「教員の民間企業研修」の実施

一般財団法人経済広報センター(経団連の外郭団体)主催の「教員の民間企業研修」に1999年から参画し、教職員の方々の研修を受け入れています。クレジットカード市場の現状、IT決済への取り組み、CS推進活動などの受講やセンター見学を通じて、学校教育でのクレジットへの理解を促すものです。



### 拠点による地域貢献活動

社会や地域への日頃からの感謝を込めて、各拠点ではさまざまな地域貢献活動に注力しています。具体的には、ペットボトルキャップ回収、使用済切手の収集、駅やビル周辺の清掃などです。

### 環境に配慮した「MUFGカード」の発行

カード入会から発券、ご利用明細書、ポイントの還元まで、一貫して環境に配慮した「MUFGカード」を発行。カード焼却時に塩素ガスを出さないPET-G素材や、FSC(森林管理協議会)の認証紙利用に加え、国内の森林整備・植林事業を行う環境保全団体への寄付プログラムをポイント商品としてご用意しています。

### 環境イベントへの協賛

身近な風景から環境問題への新たな視点を発掘する「環境フォトコンテスト(出光興産株式会社主催)」に協賛しています。

### 「カードギャラリー」の運営

本社(秋葉原UDX)16階総合受付前に、クレジットカードをテーマにしたCSRブース「CARD GALLERY」を開設しています。その一角にある「HISTORY」コーナーでは日本のクレジットカードの前身といわれる「クーポン制度」の誕生から、カード黎明期、そして現在に至るまで約60年間の歩みを紹介しています。また、提携カードを含め、昭和40年代からの代表的なカードを展示し、高度成長期などの時代の変化を垣間見ることが出来るラインアップとなっています。



### 社会貢献カードの発行

社会貢献を目的とした、さまざまなクレジットカードを発行。「日本盲導犬協会カード」「骨髄バンクカード」「赤十字DCカード」などの、ご利用代金の一部が社会福祉などの提携団体に寄付されるものです。



### 次世代個人認証技術の研究、実用化への取り組み

次世代の個人認証技術の確立を目指し、東京大学大学院内に開設された「次世代個人認証・行動解析技術社会連携講座」に参画しています。知識・所持・身体的特徴に続く、個人の行動データを活用した新たな認証技術“ライフスタイル認証”の実用化を目指し取り組んでいます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### ● 東日本大震災復興支援活動

被災された皆さまに一日も早く落ち着いた生活を取り戻していただけるよう、年月の経過とともに変化するニーズを捉え復興支援活動を続けています。

## 主な復興支援活動について

### 社員ボランティア活動



2011年7月に開始した社員によるボランティア活動は、2019年度には126回に至り、延べ1,314名が参加しました。被災地や被災された皆さまのニーズの変化に即して内容を見直しながら、農地の作業支援などに注力しています。こうした活動を復興支援の中心に位置づけ、交通費や宿泊費などを会社が負担するなど、より多くの社員が参加できるようバックアップしています。



### 社員継続募金による寄付



社員の給与天引きによる継続募金と会社の拠出分を合わせて、2011年9月の開始から2019年度までに総額1億132万円を寄付しました。現在は「ユネスコ協会就学支援奨学金」および「福島大学(うつくしまふくしま未来支援センター)」に寄付しています。具体的には、震災により経済環境が著しく悪化したご家庭の中学生の奨学金として、また、原発事故で被害を受けている福島県の子どもたちの支援に活用されています。

### 被災地でのコンサート開催



被災された方にひとときの心の安らぎを感じていただくためのコンサートを、日本フィルハーモニー交響楽団と協働して実施しています。2019年度までに152会場で開催し、約2万人の方が来場されました。また、コンサート開催に合わせて、被災地域の中学生・高校生への演奏指導、仮設住宅集会所での演奏を行いました。



### 防災リーダー育成支援



未曾有の災害を経験した中高生を対象に、福島大学(うつくしまふくしま未来支援センター)が実施している「防災リーダー育成プロジェクト」を支援しています。具体的には防災に関する知識や技術を習得できるよう、救急救命や水の確保などサバイバル技能体験、避難所運営の模擬体験などを盛り込んだプログラムとなっています。

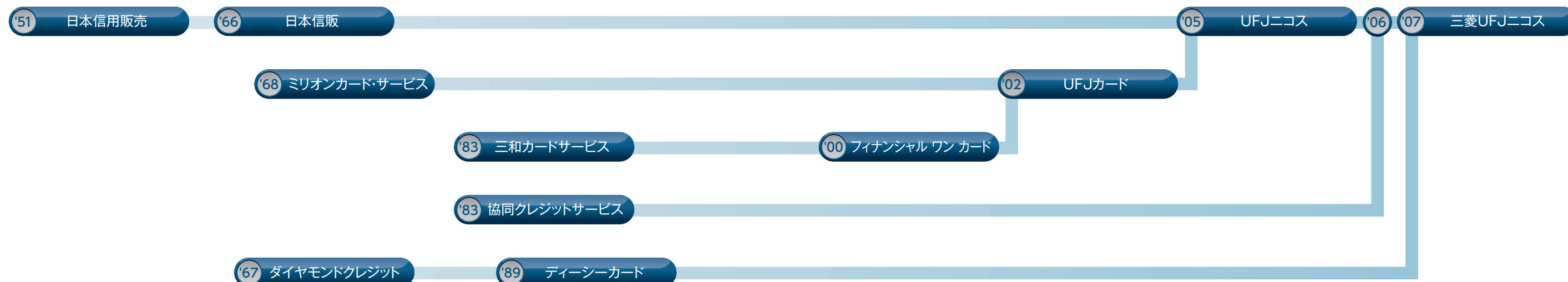


### 東北海岸林再生事業への支援



東北沿岸部の人々の暮らしや農地を風害・塩害などから守っていた海岸林の多くが、震災の津波により失われました。三菱UFJニコスは、公益財団法人オイスカが実施する「海岸林再生プロジェクト」に賛同し、カード事業を通じたエコ活動推進により削減された費用の一部を寄付してきました。また、本プロジェクトへのボランティア活動にはMUFGグループ各社の従業員も参加しています。





## 日本信販株式会社

- 1951年 日本信用販売株式会社設立  
クーポン券による割賦購入あっせん事業を開始
- 1961年 東京証券取引所市場第二部上場
- 1963年 ショッピングクレジット（個品あっせん）の  
取り扱いを開始
- 1966年 社名を「日本信販株式会社」に変更  
クレジットカード制度開始
- 1970年 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1984年 「日本信販・郵便貯金ジョイントカード」発行
- 1989年 カードローン「マイベスト」発行
- 1991年 カードネーム・デザインを一新「NICOSカード」発行
- 2003年 健康保険証一体型クレジットカード発行  
情報システムの安全管理で国際規格「BS7799」と  
国内規格「ISMS」を同時取得  
UFJ銀行を引受先とする2,000億円の種類株式を発行
- 2004年 ムーディーズおよびR&I（格付投資情報センター）、  
JCR（日本格付研究所）より格付取得  
（財）日本品質保証機構（JQA）より、  
品質マネジメントシステムに関する国際規格  
「ISO9001」を認証取得
- 2005年 株式会社UFJカードと合併

## 株式会社UFJカード

- 1968年 株式会社ミリオンカード・サービス設立
- 1981年 国内・海外共通カード発行
- 1983年 JCBのフランチャイジー（FC社）として三和銀行により  
株式会社三和カードサービス設立
- 2000年 「フィナンシャル ワン メンバースクラブ」発足  
商号を株式会社三和カードサービスより  
株式会社フィナンシャル ワン カードに変更  
東洋カードサービス・大同生命カードサービスと  
カード事業を統合
- 2002年 株式会社ミリオンカード・サービスと  
株式会社フィナンシャル ワン カードが合併し、  
株式会社UFJカード誕生
- 2004年 プライバシーマーク取得
- 2005年 日本信販株式会社と合併

## UFJニコス株式会社

- 2005年 商号をUFJニコス株式会社に変更
- 2006年 本社機能を秋葉原クロスフィールド内、UDXへ移転  
カブドットコム証券と提携、証券仲介事業を開始  
協同クレジットサービス株式会社と合併
- 2007年 株式会社ディーシーカードと合併

## 株式会社ディーシーカード

- 1967年 ダイヤモンドクレジット株式会社設立
- 1969年 国際カードマスターチャージカード発行
- 1984年 カードデザインをダイヤモンドカードから  
DCカードへ変更
- 1988年 VISAインターナショナルに加盟
- 1989年 「株式会社ディーシーカード」に社名変更  
マスターカードとVISAカードのデュアル発行開始
- 1992年 「JALカード」発行
- 2000年 「東京三菱ハイブリッドカード」発行
- 2001年 総合割賦の取り扱い開始  
東京三菱キャッシュワン設立
- 2002年 すべてのVISAカードを対象にICカード発行開始
- 2004年 「スーパーICカード『東京三菱-VISA』」  
発行に伴う業務受託開始
- 2005年 地銀本体発行に伴う業務受託開始
- 2006年 プライバシーマーク取得
- 2007年 UFJニコス株式会社と合併

## 協同クレジットサービス株式会社

- 1983年 協同クレジットサービス株式会社設立  
マスターカード発行による営業を開始
- 1986年 農協CD機による自動キャッシング・サービス取り扱い開始
- 1989年 マスターカードジャパン設立に参加
- 1990年 VISAカード発行
- 1994年 JCBカード発行
- 1996年 JAカード発行
- 2000年 キャッシュとクレジットの一体型カード  
「JAバンクカード」発行
- 2001年 総合割賦の取り扱い開始
- 2006年 UFJニコス株式会社と合併

## 三菱UFJニコス株式会社

- 2007年 商号を三菱UFJニコス株式会社に変更
- 2008年 株式会社ジャックスに個品あっせん事業承継  
「三菱UFJニコス ローンカード」発行  
「MUFGカード」発行
- 2009年 「POINT名人.com」サービス開始
- 2010年 「銀聯カード」発行  
「銀聯カード」日本国内における加盟店業務開始
- 2012年 クラウド型マルチ決済システム「J-Mups」稼動
- 2017年 農林中央金庫と共同でJAカード株式会社を設立
- 2018年 「J-Mups」のセンター事業を  
株式会社日本カードネットワークに承継



## 会社概要

商号	三菱UFJニコス株式会社 Mitsubishi UFJ NICOS Co., Ltd.
設立年月日	1951年6月7日(旧日本信販) 2007年4月1日(三菱UFJニコス)
本社	〒101-8960 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX
本店所在地	〒113-8411 東京都文京区本郷三丁目33番5号
資本金	1,093億12百万円
貸金業者登録番号	関東財務局長(13)第00115号
包括信用購入あっせん業者登録番号	関東(包)第1号
クレジットカード番号等 取扱契約締結事業者登録番号	関東(ク)第49号

(2020年8月末現在)

## 役員一覧

代表取締役会長	小野寺 隆実	常勤監査役	相吉 浩史 鈴木 晴彦 雪元 章司	執行役員	谷澤 知樹 長谷川 潤 浅田 博之 佐々木 武 今井 進一 水谷 季彦 福澤 哲也 小菅 芳之 藤澤 秀浩 谷川 信明 浦辺 浩史 佐藤 俊二 降旗 秀樹 橋本 孝之 茂木 茂 木塚 博也 片淵 聡子 松田 康裕
代表取締役社長 兼 社長執行役員	石塚 啓				
取締役 兼 副社長執行役員	矢島 仁 榎本 真樹	専務執行役員	今井 義憲		
取締役 兼 常務執行役員	村上 宏太郎 米澤 伸明 金刺 秀樹	常務執行役員	山田 剛史 鳴川 竜介 戸高 聖樹 井上 祐二 岡田 正記 越智 俊城 藤田 徹 丸山 明 久田 南雄		
取締役	松田 昇 深尾 邦彦 園 潔 村林 聡 早乙女 実				

(2020年8月1日現在)

●三菱UFJニコスの企業情報はこちら



## 三菱UFJニコスのネットワーク

(2020年7月末現在)

### DCカード ブランド

- 株式会社あしぎんカード
- 株式会社八十二カード
- 株式会社常陽クレジット
- 株式会社十六カード
- 京都クレジットサービス株式会社
- 株式会社百十四ディーシーカード
- 株式会社愛銀ディーシーカード
- 静岡ディーシーカード株式会社
- 菱信ディーシーカード株式会社
- 株式会社百五カード
- 株式会社りゅうぎんディーシー
- 株式会社滋賀ディーシーカード
- あおぎんカードサービス株式会社
- 株式会社福井カード
- 富山ファースト・ディーシー株式会社
- ひろぎんカードサービス株式会社
- 株式会社いよぎんディーシーカード
- ちばぎんディーシーカード株式会社
- 株式会社いわぎんディーシーカード
- 株式会社札幌北洋カード
- 第四ディーシーカード株式会社
- 株式会社紀陽カードディーシー
- 株式会社池田泉州DC
- 南都ディーシーカード株式会社
- フィデアカード株式会社 秋田営業部
- 株式会社やまぎんカード
- やまぎんカードサービス株式会社
- 山梨中銀ディーシーカード株式会社
- 東京海上日動ファイナンス株式会社
- 株式会社FFGカード

### MUFGカード ブランド

- 株式会社札幌北洋カード
- みちのくカード株式会社
- 株式会社大東クレジットサービス
- たいこうカード株式会社
- 株式会社とちぎんカード・サービス
- 東和カード株式会社
- 清水リース&カード株式会社
- 株式会社中京カード
- 株式会社名古屋エム・シーカード
- 株式会社OKBペイメントプラット
- 九州カード株式会社

### 本体発行提携各行

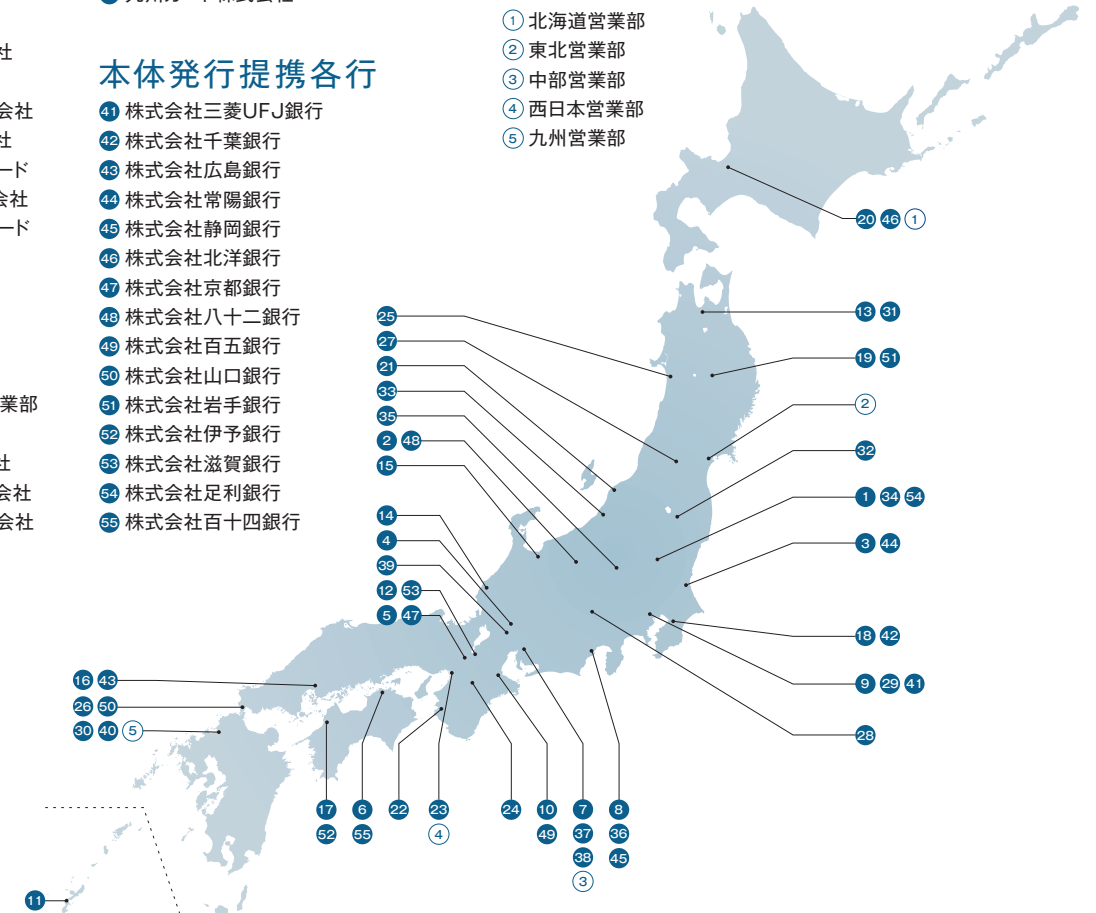
- 株式会社三菱UFJ銀行
- 株式会社千葉銀行
- 株式会社広島銀行
- 株式会社常陽銀行
- 株式会社静岡銀行
- 株式会社北洋銀行
- 株式会社京都銀行
- 株式会社八十二銀行
- 株式会社百五銀行
- 株式会社山口銀行
- 株式会社岩手銀行
- 株式会社伊予銀行
- 株式会社滋賀銀行
- 株式会社足利銀行
- 株式会社百十四銀行

### 関連会社

- カードビジネスサービス株式会社
- 菱信ディーシーカード株式会社
- 株式会社ペイジェント
- JAカード株式会社
- 株式会社ジェイエムエス

### 営業部

- 北海道営業部
- 東北営業部
- 中部営業部
- 西日本営業部
- 九州営業部



## 国内最大級の会員・取引先基盤／国内最大の地銀・FCネットワーク

カード会員数  
32,946千人

カード取扱高  
16兆6,029億円

※FC社・加盟店開放先・業務受託先含む (2020年3月末現在)

